

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします

京都府立医科大学附属病院関連施設における急性冠症候群 の実態調査

【はじめに】

京都府立医科大学附属病院と関連病院では、緊急の冠動脈造影を施行された患者さんの治療実態や予後に関する臨床研究を実施しています。なお、この研究は京都府立医科大学および当院の倫理委員会の審査を受け、院長より適切な研究であると承認されています。

【方法】

2021年1月以降、急性心筋梗塞及び搬送時心肺停止にて来院又は搬送された方が対象となります。診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。

年齢、生年月日、性別、既往歴、心肺停止状況（心肺停止の症例のみ）、検査値、血管造影所見、治療内容、死亡原因、死亡以外のイベント（心筋梗塞の再発、脳卒中、出血性合併症、致死性不整脈など）の発生状況などです。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

ご協力いただきたいことは、該当する患者さんの2021年1月より永年 診療情報を本研究に使わせていただくことです。

【個人情報保護の方法】

患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究代表者（京都府立医科大学 循環器内科学 教授 的場聖明）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。また、当院の研究責任者（情報管理責任者）も同様に厳重な管理を行います。

【情報の保存および 二次利用 について】

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学循環器内科において原則永年保存されます。保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として 永年保管し、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用する場合があります。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を倫理委員会で審査し承認を得ます。

【研究組織】

研究代表者：京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 教授 的場 聖明

当院研究責任者：京都岡本記念病院 循環器内科 部長 小出 正洋

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【問い合わせ窓口】

参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都岡本記念病院 循環器内科 小出 正洋

TEL 0774-48-5500（代表）（平日9：00～17：00）